人、自然、科学を結ぶ 学研都市精華町

Seika Town Newsletter HANASOU!!

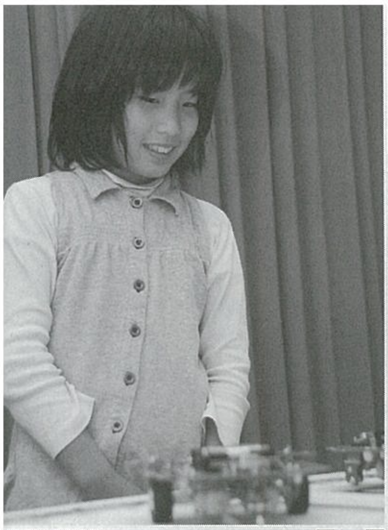
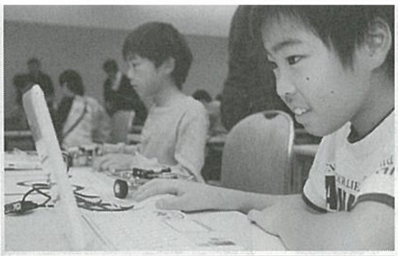
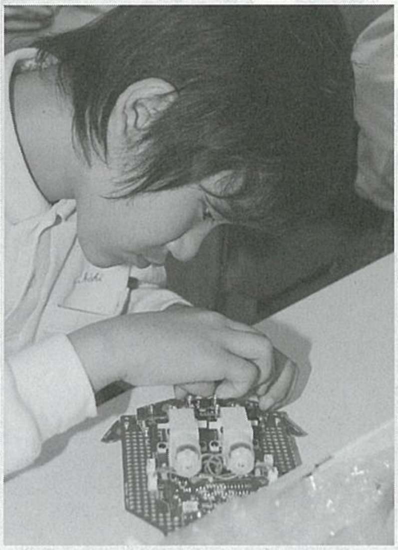
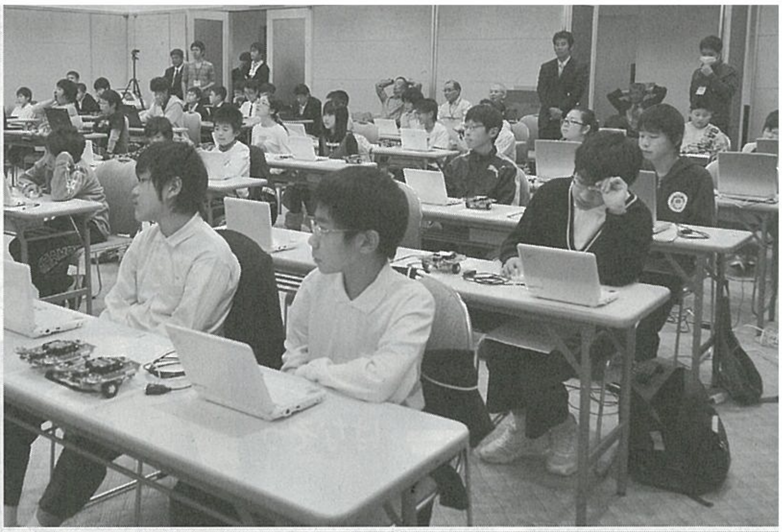
華創（はなそう）

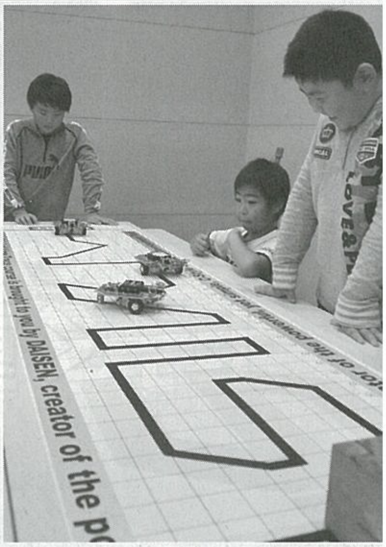
2012 DECEMBER No.597 12

どうしたら上手く動くのかな？

せいか祭り２０１２／４
行政サービス年末年始の休み／６　年末のごみ収集／７　長年の功績たたえる栄えある受章／８　聖夜前に和洋折衷の音色／15　精華町職員保育士募集／19
せいか写真日記／24

自分で判断して動く自律走行型ロボットを作る工作教室が11月10日（土）、けいはんなプラザで開かれました。同日開催のまほろば・けいはんなＳＳＨサイエンスフェスティバルにおいて「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの活動として実施されたものです。学研都市内の小中学生約40人が参加し、なかなか思うように動かず苦労しつつも、試行錯誤の末にロボットがコースを進み出すと、子どもたちは興奮の様子でした。



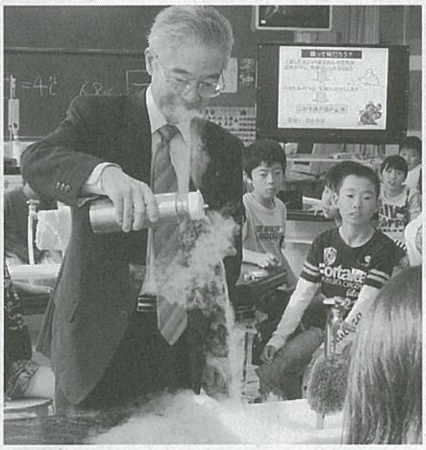
「科学のまちの子どもたち」プロジェクト

けいはんなジュニアロボットクラブが始動

「科学のまちの子どもたち」プロジェクトとは？

「科学のまちの子どもたち」プロジェクトは平成19年10月、小中高の学校関係者や研究施設の代表者らが集まり発足しました。多くの研究施設や企業が集積する学研都市の特色を生かし、将来の都市発展を担う「子どもたち」に「科学」をテーマにさまざまな「学びの機会」を提供する取り組みを進めています。

主には、学研都市内の学校（小・中・高等学校）と立地機関（大学、研究施設、一般公開施設）の交流・連携を支援しています。今回のイベントのほか、子どもたちの学研施設訪問や、研究者による出張授業などの活動を展開しています。


東光小学校での出張授業

未来のロボット技術者が!?「けいはんなジュニアロボットクラブ」

今回の「ロボット工作教室」＝上各写真＝には、町内の小中学校から20数人の子どもたちが参加。この参加者を対象として「けいはんなジュニアロボットクラブ」が設立されます。

同クラブは、元技術者で大阪のロボット工作教室でも指導する会長の伊藤潤一さん（光台八丁目）の発案で、仲間の方々と一緒に設立されました。来年は、入門コースとしてロボットの基礎的な制御技術などの講義が予定されています。

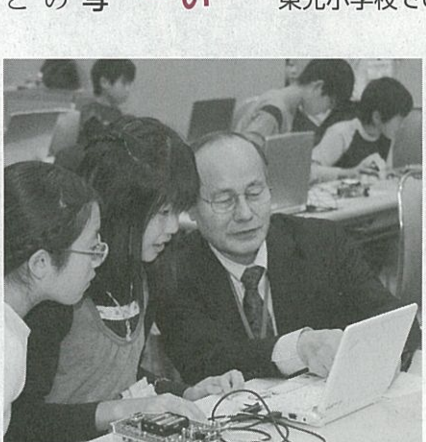
伊藤さんは、「精華町の子どもたちは理解が早くて優秀です。このクラブからRoboCup【注】への出場者も育つかも」と、今後への期待を語っていました。

▼ロボット教室参加者のコメント

ロボットを動かしたことはあったけど、プログラミングは初めて。将来こういう仕事に就きたい。（山田荘小5年生・男子）

なかなか思い通りにならなくて難しかった。先生の説明はとても分かりやすかった。（精華台小6年生・女子）

【注】日本の研究者らが提唱したロボットの世界大会。人工知能やロボット工学などの研究を推進し、さまざまな分野の基礎技術への波及を目的としている。


子どもたちを指導する伊藤会長